

きれいで住みよい まちづくりへの 取り組み

先月号に引き続き、まちの環境美化を図ろうと、各地域で取り組まれた花壇整備や清掃活動について紹介します。

まちをきれいにしていただいた
皆さんありがとうございました



花人街道を花で飾る
6月10日、金山の未来魅力を伝える会（小原勝洋会長）の皆さんが、金山地区を通る国道237号線「花人街道」沿いの花壇に、赤や黄色のマリーゴールドなどの花を植えました。

ひまわり600本を植える
6月10日、町商工会青年部の主催による青少年育成事業として、道の駅前車場の花壇にひまわりの苗を植えました。
この日は、小学生の皆さんと青年部員をはじめ、千里大学の学生や大乗会の職員など約30名が参加して、ひまわりの苗600本を一本ずつ丁寧に植えました。



三の山峠の環境整備
6月11日、富良野ライオンズクラブ南富良野支部（曾慶一介会長）の皆さんが、初夏の強い日差しとセミの鳴き声が響く中、三の山峠駐車場の花壇整備や駐車場の草刈などに汗を流していました。

湖畔で清掃活動を展開
6月8日、町高齢者事業団互助会の皆さん30名が参加して、鹿越大橋から湖畔駐車公園までの道路脇を歩いて、熱心にごみを拾い集めました。拾い終えた皆さんは、額の汗をぬぐいながら、「今年は近年で一番ごみが少なかった。」と話していました。



北落合連合会（高橋重範会長）の皆さんによる、北落合地区の花いっぱい運動として、花壇の整備が6月15日に行われ、あいにく小雨の降る中で作業となりましたが、除雪管理センター前の花壇には、多くの皆さんが集まり、マリーゴールドなどの色鮮やかな花を植えました。



地域一体となって花壇整備